

登録コード	E4310902	開講年度	2026				
授業科目	初等社会科指導法基礎C					担当教員	松本 康
英文授業名	Teaching Method of Social Studies in Elementary School					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	
講義室	教育E504講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ，25Eカリ，24Eカリ，23Eカリ，22Eカリ，21Eカリ，20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				1. 小学校社会科の意義と歴史について理解できること。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				1. 社会科教育のカリキュラムと授業作りの方法について理解できること。 2. 社会科の単元指導案を作れるようになること。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	社会科教育は子どもの社会認識を育てることによって、市民としての資質（公民的資質）を育てることを目標とする教科である。この授業では小学校社会科について、目標，内容，歴史と実践の動向，評価，社会科の授業づくりの方法について具体的な事例をもとに学び，自らの経験を踏まえて社会科という教科の意義と背景を理解し、単元レベルで授業を作れるようになることをめざす。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：社会科の経験を振り返る(GoogleDriveによるファイル共有作業) 第3回：社会科の歴史1（戦前の社会系教科） 第4回：社会科の歴史2（社会科の成立と初期社会科の実践） 第5回：社会科の目標1（教育基本法から学習指導要領まで） 第6回：社会科の目標2（社会科の目標とカリキュラム） 第7回：社会科の内容と方法1（3年：市区町村，生産・販売，安全，地域の移り変わり） 第8回：社会科の内容と方法2（4年：都道府県，健康や生活環境を支える事業、自然災害） 第9回：社会科の内容と方法3（4年：伝統・文化，先人の働き，特色ある地域） 第10回：社会科の内容と方法4（5年：国土の様子と国民生活，食料生産，工業生産） 第11回：社会科の内容と方法5（5年：産業と情報，国土の自然環境と国民生活） 第12回：社会科の内容と方法6（6年：日本国憲法，民主政治，国・地方公共団体，国民主権） 第13回：社会科の内容と方法7（6年：歴史上の主な事象，グローバル化する世界と日本） 第14回：模擬授業、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	ポートフォリオ（毎回の感想）（30％）、授業のねらい1～3に対応する小レポート(10%)，学習指導要領ワークシート（20％×2回），および最終レポート（20％），によって評価する。オリジナルの単元指導案の作成を最終レポートとする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	学習指導要領ワークシートの評価規準は次の通り。()単元の学習内容が含まれているか，()学習問題と教材が具体的か，()活動がイメージしやすいか，()学校と子どもを具体的に想定しているか。()現場の実践として通用するか。 最終レポート（単元指導案）の評価規準は次の通り。()テーマの設定が適切である。()テーマに沿った教材研究ができています。()指定された形式に沿って指導案が作成されている、()適切な単元構成ができています。()現場の実践として通用する。 (i)から()までの項目を満たし、かつオリジナリティがあれば「卓越している」。(i)から()までの5項目を満たされていれば「かなり上にある」、4項目を満たしていれば「やや上にある」、3項目を満たしていれば「その水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	・事前事後学習の課題はeALPSに指示する。 ・資料はファイルとしてeAPLSにUPしておくので，授業開始までにダウンロードしておくこと。メモを書き込みするために紙印刷を推奨。 ・小レポート「小学校で経験した社会科」のWS（ワークシート）を第1回にダウンロードする。第2回までに作成し、グループ討議の材料とする。 ・テキスト（学習指導要領解説）は第5回までに入手しておき，第7回～13回には予習・復習用として読んでおくこと。 ・第5回までに小レポート「初期社会科」を作成・アップロード提出する。 ・第8回～第13回まで小レポート「各単元の学習問題・教材」（3～6学年）を作成・アップロード提出する。 ・第14回は指導案を持ち寄り，グループ単位で模擬授業を行う。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容であり，60時間以上の時間外学習が必要。						
(9)履修上の注意	・提出物の期限等についてはeAlpsを参照すること。 ・出席は毎回eAPLSに感想をアップロードすることでカウントする。ポートフォリオとして評価材料に使うので毎回毎回100～200字程度で書くこと。期限までに書き忘れた場合カウントに含めない。 ・教育実習で欠席した場合、eALPSの課題の指示に従うこと。						

(10)質問，相談への対応及び連絡先	メールにて対応する。matsu_y@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』日本文教出版，2018年。（生協にて入手。PDF版は文部科学省HPからDL可）
【参考文献】	・日本社会科教育学会編『社会科教育事典（第3版）』ぎょうせい，2024年 ・井田仁康・唐木清志編著『MINERVAはじめて学ぶ教科教育 初等社会科教育』ミネルヴァ書房，2018年 ・信州社会科教育研究会『新編 のびゆく郷土』信濃教育出版社，2012年 ・文部省(著)/ 西田亮介(編)『民主主義 一九四八 - 五三 中学・高校社会科教科書エッセンス復刻版(幻冬舎新書)』幻冬舎，2016年 ・総務省・文部科学省『私たちが拓く日本の未来 - 有権者として求められる力を身につけるために - 』（高校生向け副教材）総務省HPよりDL可， http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/senkyo_nenrei/01.html ・電子政府の総合窓口e-Gov http://www.e-gov.go.jp/ ・国土地理院(電子国土Web) http://www.gsi.go.jp/ ・国立歴史民俗博物館 https://www.rekihaku.ac.jp/ ・国立民族学博物館 http://www.minpaku.ac.jp/ ・東京国立博物館 http://www.tnm.jp/ ・長野県立歴史館 http://www.npmh.net/ ・長野市立博物館 http://www.city.nagano.nagano.jp/museum/ ・「全国市町村ジグソーパズル」Hogere、2013年（GooglePlay またはAppleStore上の無料アプリ） ・小学校社会科教科書や地域教材も参照すること。